

はじめに

本研究報告は、「まえがき」でふれたように平成 11 年から 14 年まで 3 年余にわたって実施された、当財務センターの研究プロジェクト「大学の設置形態と財務システムに関する調査研究」の成果に基づくものである。

このプロジェクトには、わが国の「国立大学の財務システムの改革に関する研究」チームと並んで、「欧米主要国の大学についての比較研究」チームが置かれ、アメリカ・イギリス・ドイツ・フランスの 4 カ国について、専門家による調査研究が行われた。

各国における大学の設置形態と財政・財務に関する、その調査研究の成果は逐次、研究プロジェクトの諸会合で発表され、また「大学の設置形態と管理・財務に関する国際比較研究——第一次中間まとめ——」および「欧米主要諸国の大学ファンディング・システム」の 2 冊の報告書として公刊されている。

ただ、この 2 冊の報告書は、その性格からして当然のことながら、調査研究の成果のすべてを収めるものではなく、また、欧米諸国における大学の設置形態と財政・財務について、鮮明な課題意識にもとづく最新の詳細な資料やデータを駆使した調査研究として、上記チームによる研究は、いまの時点で事実上唯一のものである。

そうした経緯と研究成果の資料的な価値の大きさや重要性を考え、当センター研究部の直接の研究成果ではないが、その比較研究の全容を「欧米主要国における大学の設置形態と管理・財政システム」というタイトルで、「研究報告」の形で公刊させていただくこととした。

刊行に当たっては、研究チームの各メンバーにあらためて、これまでの成果を踏まえた、「研究報告」にふさわしいスタイルと内容の原稿を執筆してくださるようお願いし、快諾をいただいた。執筆者各位のご協力に心より感謝申し上げますとともに、国立大学の独立行政法人化が狙上へのぼっているいま、この「研究報告」が一人でも多くの、この問題に関心を持つ大学関係者に読まれ、役立てられることを願っている。

平成 14 年 12 月

国立学校財務センター研究部長

天野 郁夫